松屋起点

NEW 若狭路美浜トレイル新整備コース

松屋地蔵大権現岳▼大御影山ルート

まつやじぞうだいごんげんだけ▼おおみかげやま

耳川流域の新庄の谷から日本海まで見渡す絶景が楽しめる

▼松屋能登又周遊道（松屋起点・終点）
▼粟柄～ノロ尾登山道 経由
▼松屋～ノロ尾登山道 経由

大御影山の山頂付近（３月頃撮影）

耳川の源流域に位置し、標高950.1メートルの大御影山は、若狭一の最高峰で、滋賀県との県境に位置する分水嶺である。

松屋集落から大御影山へは、これまで能登又林道ルートが利用されていたが、2017年に松屋登山口から松屋地蔵大権現岳を経て尾根沿いに進むルートの「松屋～ノロ尾登山道」と、松屋より東にある粟柄からの「粟柄～ノロ尾登山道」の整備が完了した。

また、松屋集落から「松屋～ノロ尾登山道」を一部利用しながら能登又谷沿いを周遊する「松屋能登又周遊道」は、子ども連れにもお勧めのハイキングコース。約1,000メートルの距離で山と谷の変化が楽しめる。

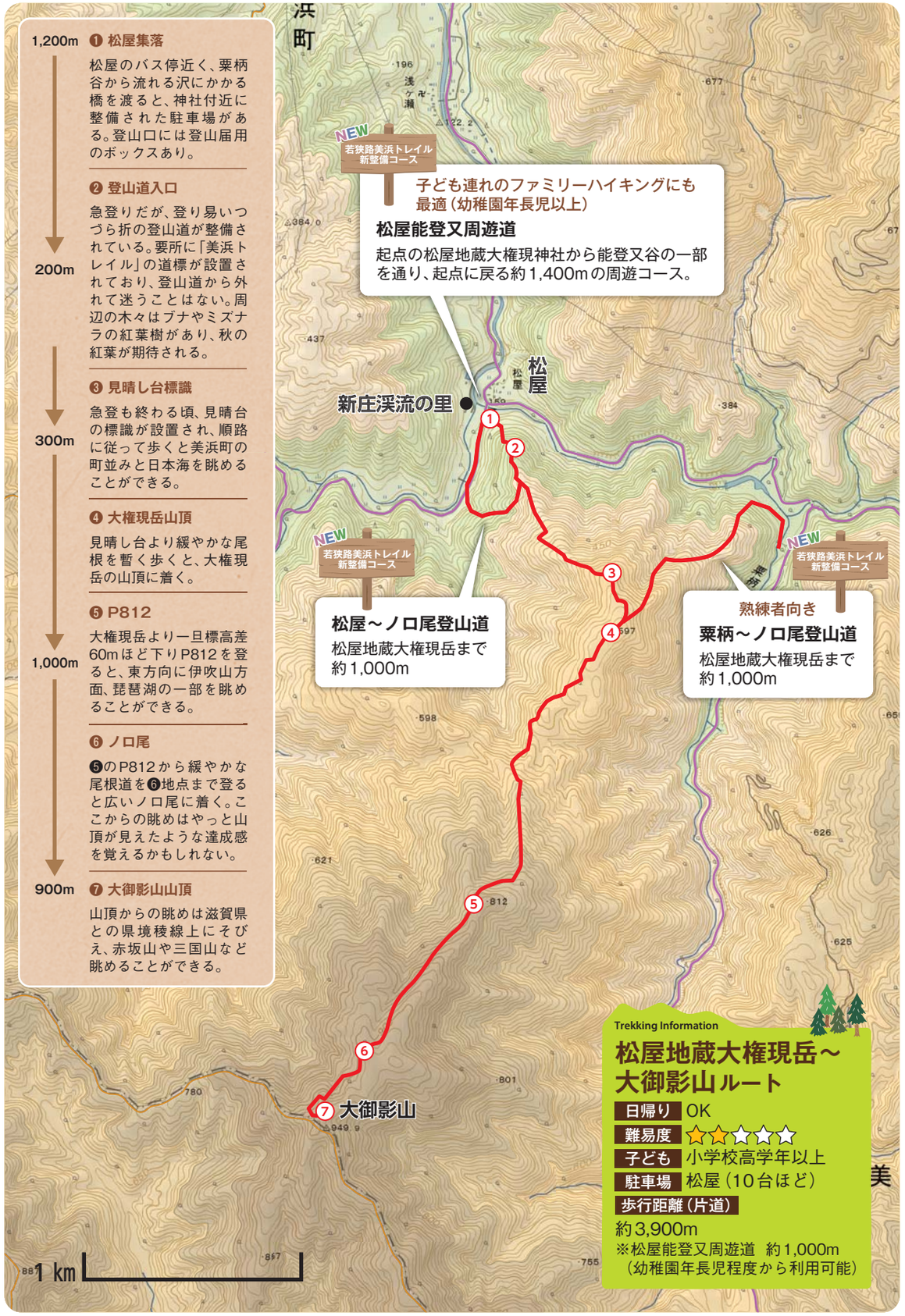
そのさらに先の松屋地蔵大権現岳から大御影山の間には、天候が良ければ耳川沿いに続く新庄の谷から日本海まで望む見晴らしスポットがあり、尾根を進む気持ちの良さも格別。松屋地蔵大権現岳の名は、あまり知られていないが、山頂までの間にブナやミズナラの林があり、春の新緑、秋の紅葉が美しいルートでもある。

松屋地蔵大権現岳山頂

大御影山の県境稜線は、近江坂の古道とも呼ばれる。近江坂は、若狭町の能登野から、大御影山を経て滋賀県高島市今津の酒波寺まで続き、かつては若狭国と近江国を結ぶ峠道として利用されていた。そうした歴史に思いを馳せつつ歩く山行の奥深さも味わうことができる。

松屋地蔵大権現岳の登山口

推定樹齢300年はあると見られるブナの大木が山行を見守る



1,200m ❶ 松屋集落

松屋のバス停近く、粟柄谷から流れる沢にかかる橋を渡ると、神社付近に整備された駐車場がある。登山口には登山届用のボックスあり。

❷ 登山道入口

急登りだが、登り易いつづら折の登山道が整備されている。要所に「美浜トレイル」の道標が設置されており、登山道から外れて迷うことはない。周辺の木々はブナやミズナラの紅葉樹があり、秋の紅葉が期待される。

200m

❸ 見晴し台標識

急登も終わる頃、見晴台の標識が設置され、順路に従って歩くと美浜町の町並みと日本海を眺めることができる。

300m

❹ 大権現岳山頂

見晴し台より緩やかな尾根を暫く歩くと、大権現岳の山頂に着く。

❺ P812

大権現岳より一旦標高差60mほど下りP812を登ると、東方向に伊吹山方面、琵琶湖の一部を眺めることができる。

1,000m

❻ ノロ尾

❺のP812から緩やかな尾根道を❻地点まで登ると広いノロ尾に着く。ここからの眺めはやっと山頂が見えたような達成感を覚えるかもしれない。

900m

❼ 大御影山山頂

山頂からの眺めは滋賀県との県境稜線上にそびえ、赤坂山や三国山など眺めることができる。

Trekking Information

松屋地蔵大権現岳～大御影山ルート

日帰り	OK
難易度	★★☆☆☆
子ども	小学校高学年以上
駐車場	松屋（10台ほど）
歩行距離（片道）	約3,900m ※松屋能登又周遊道　約1,000m （幼稚園年長児程度から利用可能）